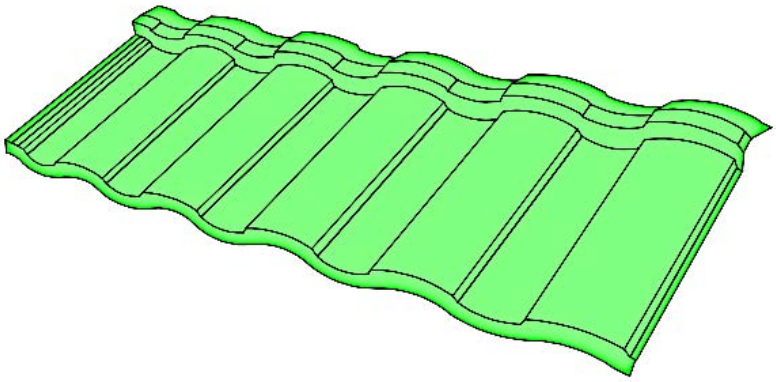
MYKE

メトロローマン 施工要領

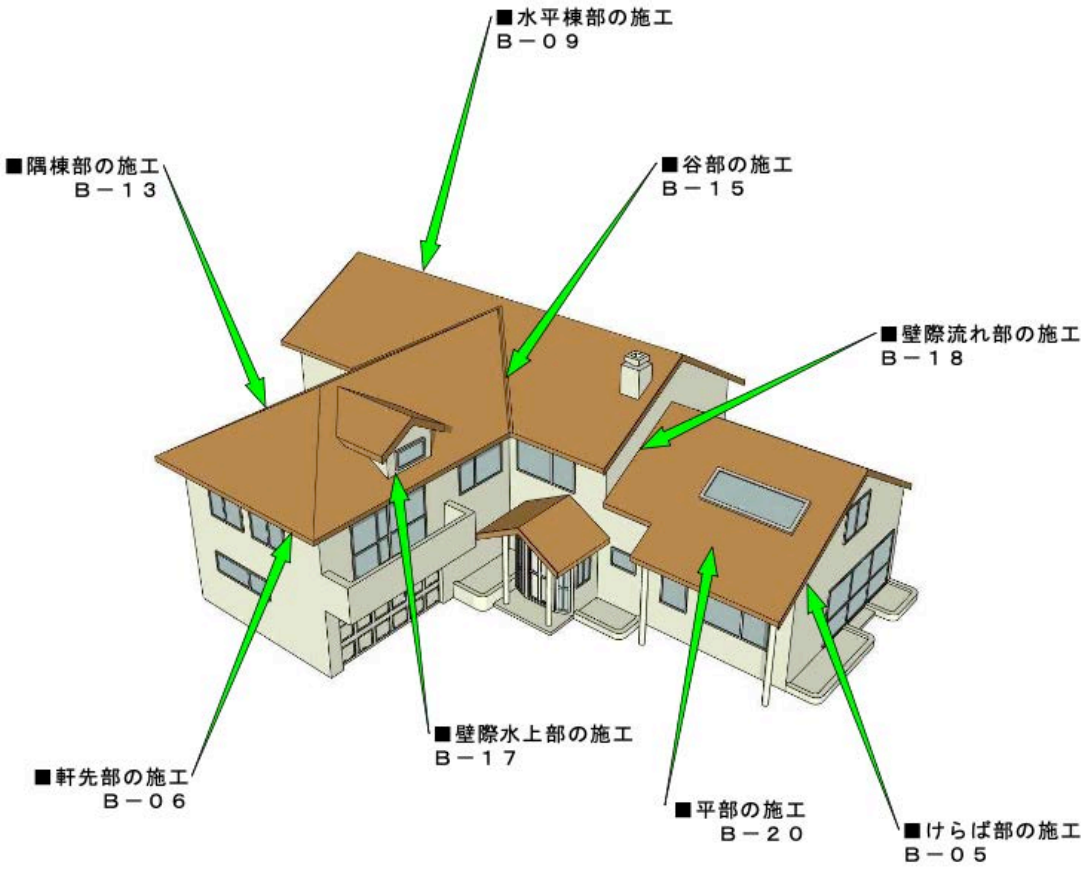
改定日：2020.06.04



この施工要領書は、標準的な施工方法を説明しています。
メトロローマン用の施行要領です。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

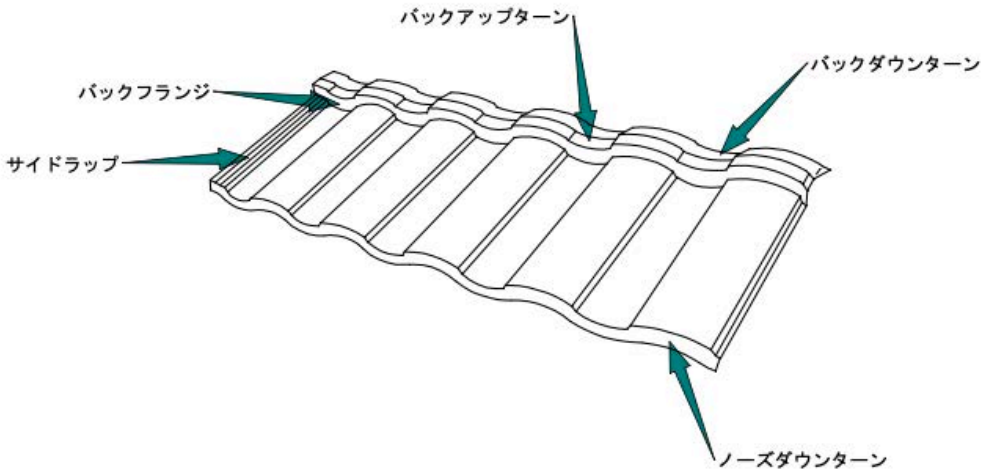
●建物各部の納まり



2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

メトロローマン 施工要領



■材　質■
・メトロローマンはＡＳＴＭ（American Society for Testing and Materials ）Ａ７９２に定められたスチールに、ジンカリウム（アルミニウム５５%＋亜鉛４３%＋シリコン２%）をコーティングした材料で作られています。

■保管方法■
メトロローマンは、防水カバーで覆うか、又は湿度の低い屋内に保管してください。

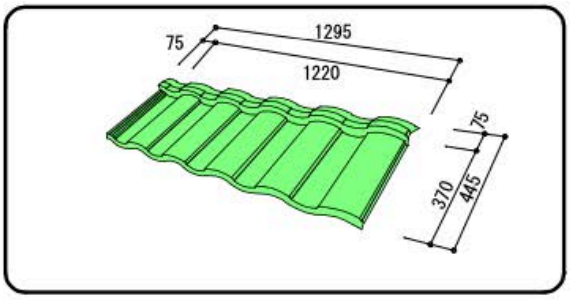
■金属腐食■
金属の腐食（異種金属接触腐食）を防ぐため、メトロローマンを施工する際に、イオン化傾向の異なる金属を接して使用することは避けてください。

■天然石コーティング■
メトロローマンの表面の小さな傷等は、タッチアップキットで補修することが出来ます。スプレー式のカラーペイントは決して使用しないでください。

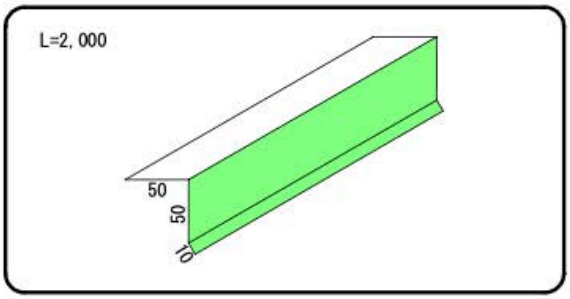
■屋根勾配■
メトロローマンは２．５寸勾配以上の屋根に設置することが可能です。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

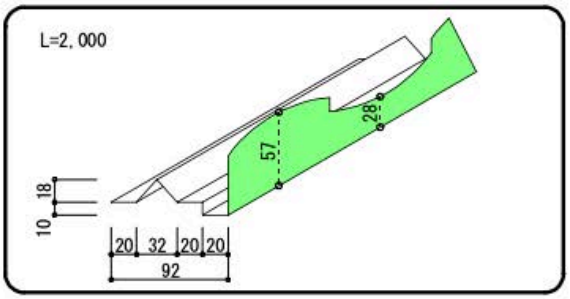
●メトロローマン部材リスト①



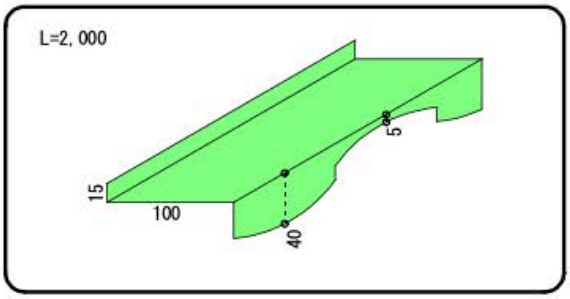
ローマンパネル
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



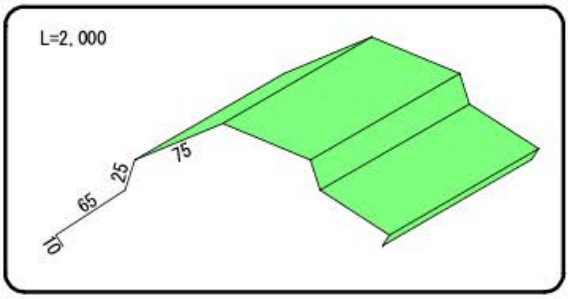
ドリップエッジ
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



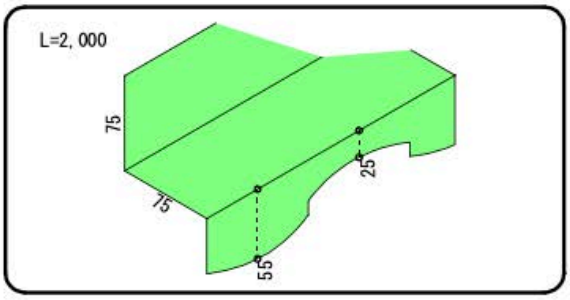
ローマンバードストップ
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



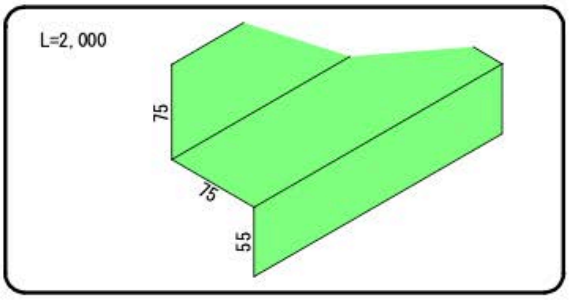
ローマン棟用エプロン
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



リッジベントキャップ
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



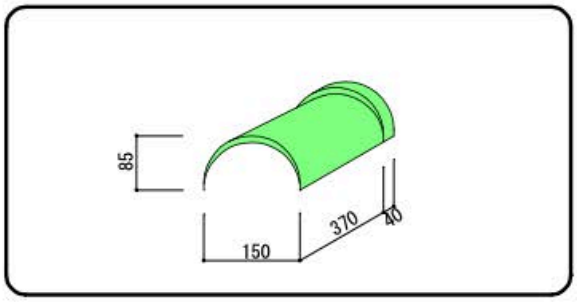
ローマンヘッドウォールフラッシュ
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



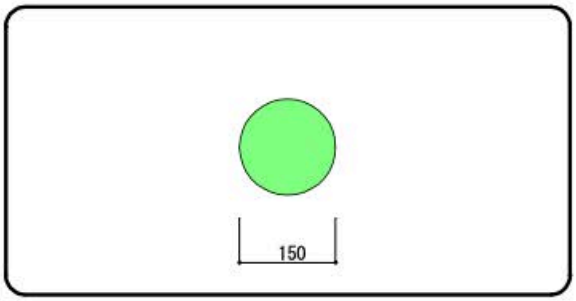
サイドウォールフラッシュ
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

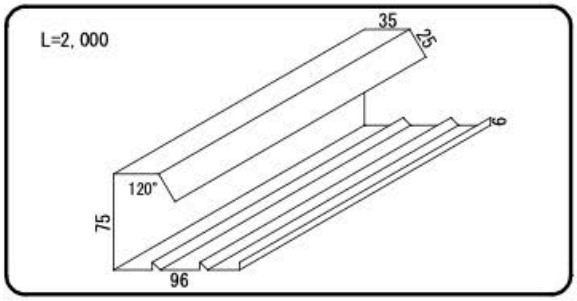
●メトロローマン部材リスト②



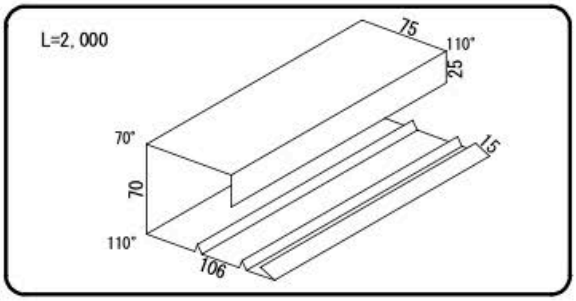
丸トリム
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



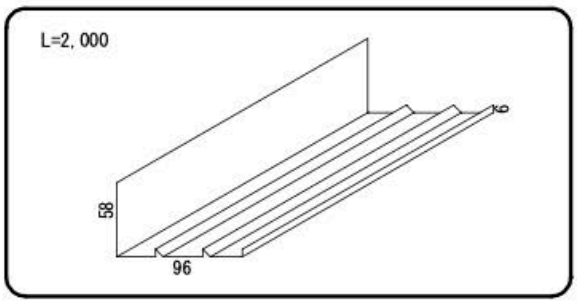
丸トリムエンド
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



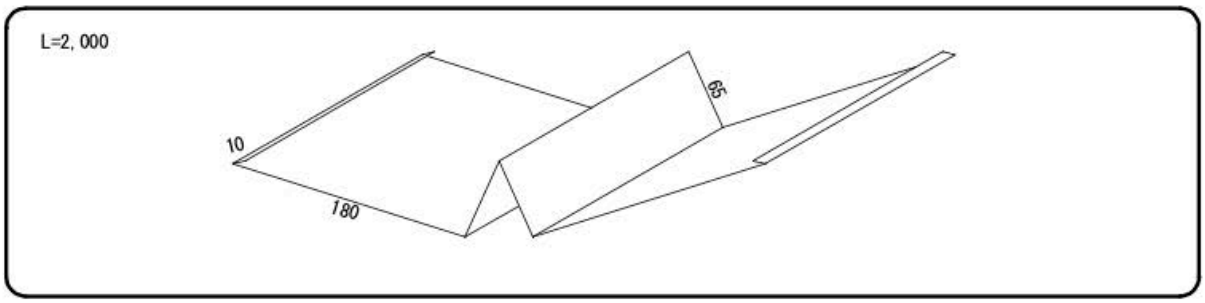
ケラバ捨板
塗装ガルバリウム鋼板0.39ミリ



寄棟捨板
塗装ガルバリウム鋼板0.39ミリ



ウォールフラッシング
塗装ガルバリウム鋼板0.39ミリ



谷板金
塗装ガルバリウム鋼板0.39ミリ

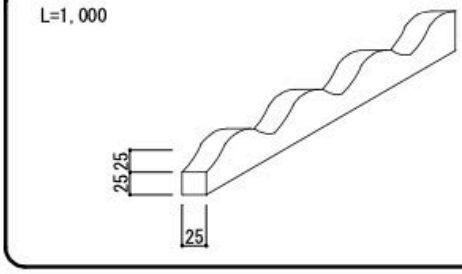
2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

●メトロローマン部材リスト③

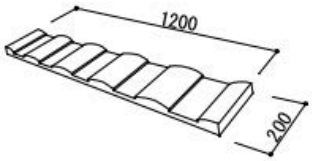
※６．３５ミリ＝１／４インチ（インチ規格です。）

（５００本／袋）

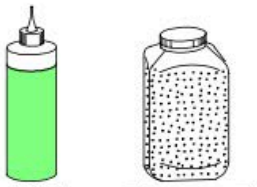
専用ファスナー（ワッシャー＋ＥＰＤＭパッキン付）
ダクロメッキ（頭部同色塗装）



ローマンシールテープ
ＥＰＤＭ

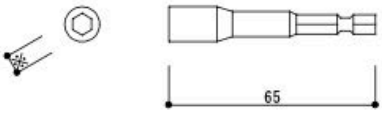


ローマンバックアップ材
自己消化性発砲スチロール



補修キット

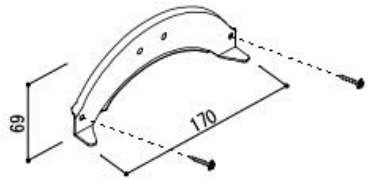
※６．３５ミリ＝１／４インチ（インチ規格です。）



※　専用ファスナー袋に１本入っています。

専用ファスナー用ソケット
ダクロメッキ

※専用ファスナーでローマンパネルに固定します。



雪止め金物

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

メトロローマン 施工要領

●施工の注意

■野地板■
・野地板には、構造用合板１２ミリ以上を使用することを推奨します。

■アスファルトルーフィング■
・アスファルトルーフィングはJIS A6005（アスファルトルーフィングフェルト）に適合するアスファルトルーフィング９４０以上又は改質アスファルトルーフィング下ぶき材を推奨します。

■小屋裏の換気■
・現地の法律に規定された小屋裏の換気量を確保することをお勧めします。軒裏換気又は棟換気の基準に達する適切な方式を採用することが出来ます。

■保管方法■
・メトロローマンは、耐候性カバーで覆うか、又は湿度の低い屋内に保管してください。

■シーリング■
・メトロローマンに使用するシーリング剤は、外部用のウレタン系シーリングを使用してください。（捨て板のジョイント等、直接外気に触れない部分には、シリコン系シーリングを使用することも可能です。）

■パネルの切断■
・パネルの切断にディスクグラインダーは使用しないでください。（飛散した鉄粉から錆びが発生します。やむを得ずディスクグラインダーを使用する場合は、必ず“地上”で十分な養生をした環境で行ってください。）
・パネルの切断にはハサミ類、又は押し切り（ギロチン）を使用することをお勧めします。（ハサミ等でパネルを切断すると、切断面が“閉じる”のでジンカリウム鋼板の“錆びにくい”特性を維持することが出来ます。しかし、ディスクグラインダーを使用すると切断面が“荒れる”ため錆びが発生する可能性があります。）

■専用ファスナー用ソケット■
・メトロタイル専用ファスナーはインチ規格ですので、国産のソケットは使用できません。必ず専用ソケットを準備する必要があります。

■専用ファスナーの長さ■
・専用ファスナーは、本体パネルを野地板等に取り付ける場合（鋼板＋木）には６３ミリ、本体パネル同士等を固定する場合（鋼板＋鋼板）には３８ミリ、捨て板等を取り付ける場合には３８ミリを使用することを原則とします。

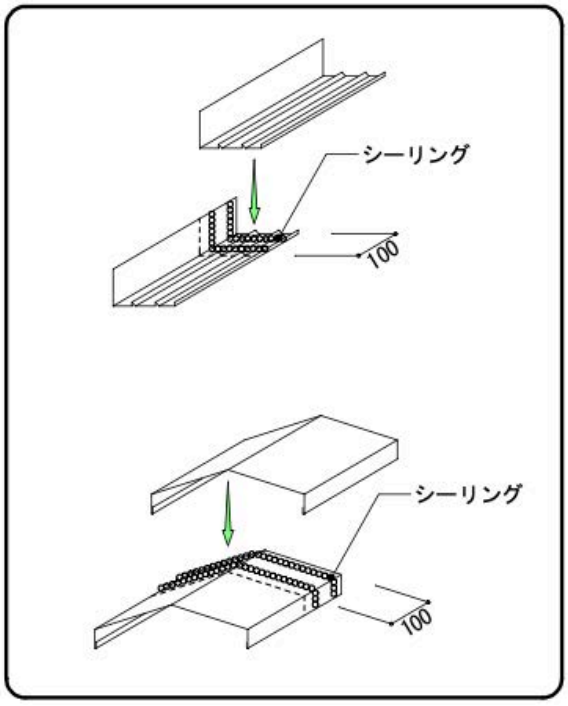
■材料・工具等■（下記は現地にて準備してください。）
●アスファルトルーフィング　●木下地　●ステンレスコーススレッド　●吊子（現場加工）
●防水テープ　●インパクトドライバー　●ハサミ（スニップス）類　●つかみ（シーマー）類
●シーリング剤　●コーキングガン　●保護手袋

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

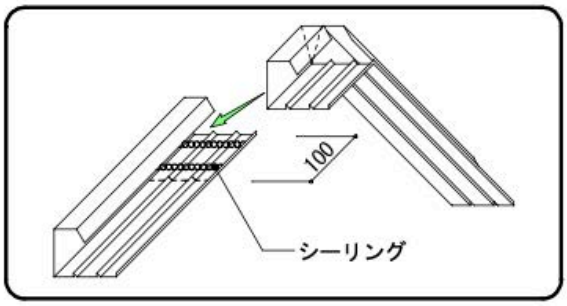
MYKE

メトロローマン 施工要領

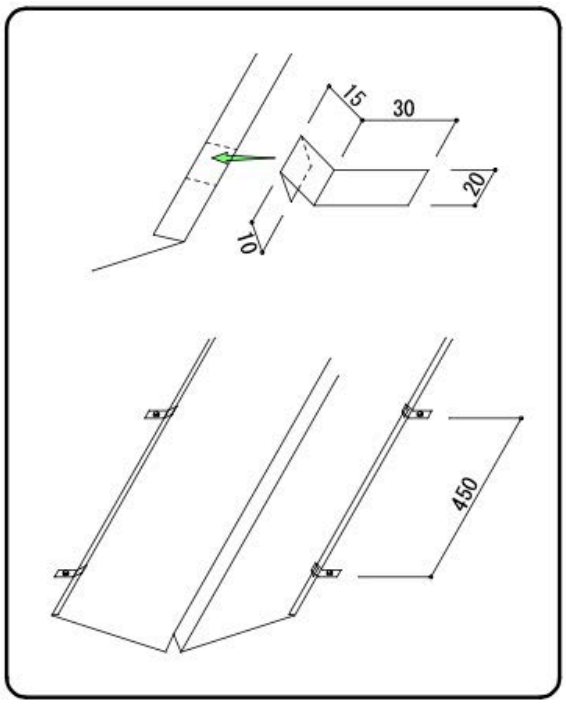
●共通事項：継ぎ部分



・捨て板、役物等の継ぎ部分は、１００ミリ以上の重ねしろを設け、その中に二列のシーリング（シリコンでもよい）を挟み込んで止水します。



●共通事項：捨て板吊り子止め



・捨て板で水返しの立ち上がりが１０ミリ、または１５ミリのものを取り付ける場合は、吊り子を使います。

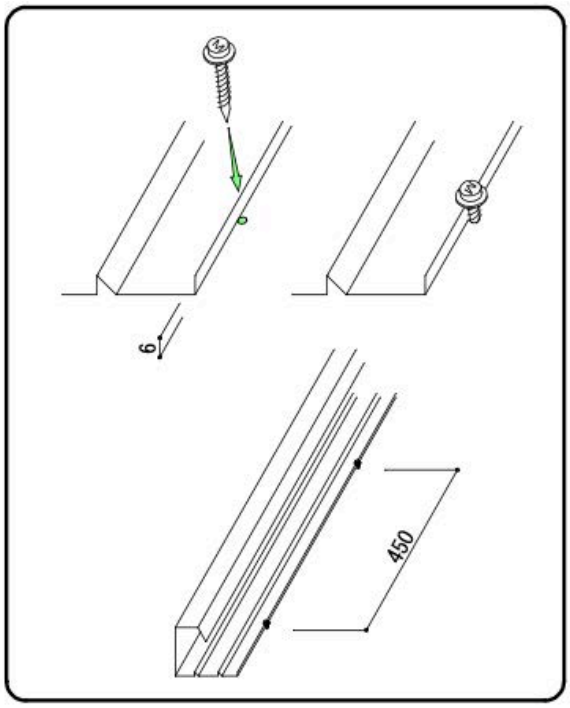
・吊り子は現場にて、捨て板等の端材を利用して製作してください。

・吊り子の山の部分で、捨て板の水返しの部分を挟みこみ、ペンチ等でカシメて取り付け、専用ファスナーで野地板に固定します。

・吊り子は捨て板に４５０ミリピッチで取り付けます。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

●共通事項：捨て板ファスナー留め①



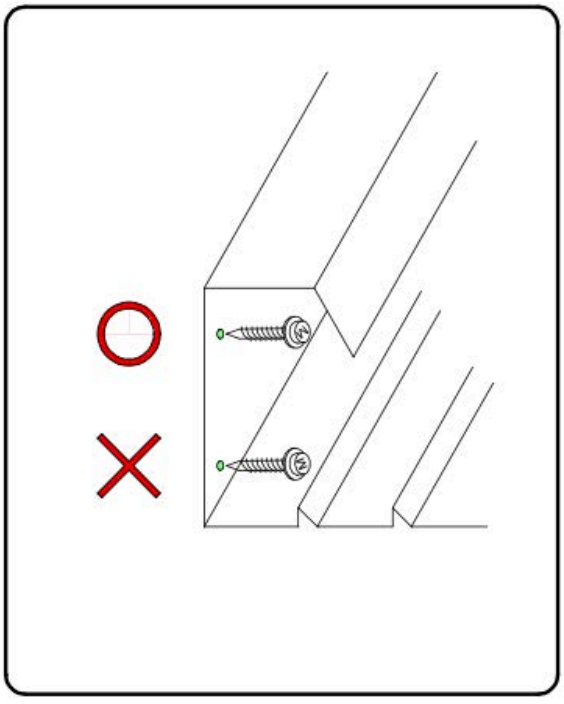
・捨て板で水返しの立ち上がりが直角で６ミリのものを取り付ける場合は、専用ファスナーを使います。

・専用ファスナーを、捨て板の水返しに接する位置に打ち込み、専用ファスナーのワッシャー部分を水返しに押し付けるように固定します。

・専用ファスナーは捨て板に４５０ミリピッチで取り付けます。

・専用ファスナーは、捨て板の内側には決して打ち込まないでください。（漏水の可能性があります。）

●共通事項：捨て板ファスナー留め②



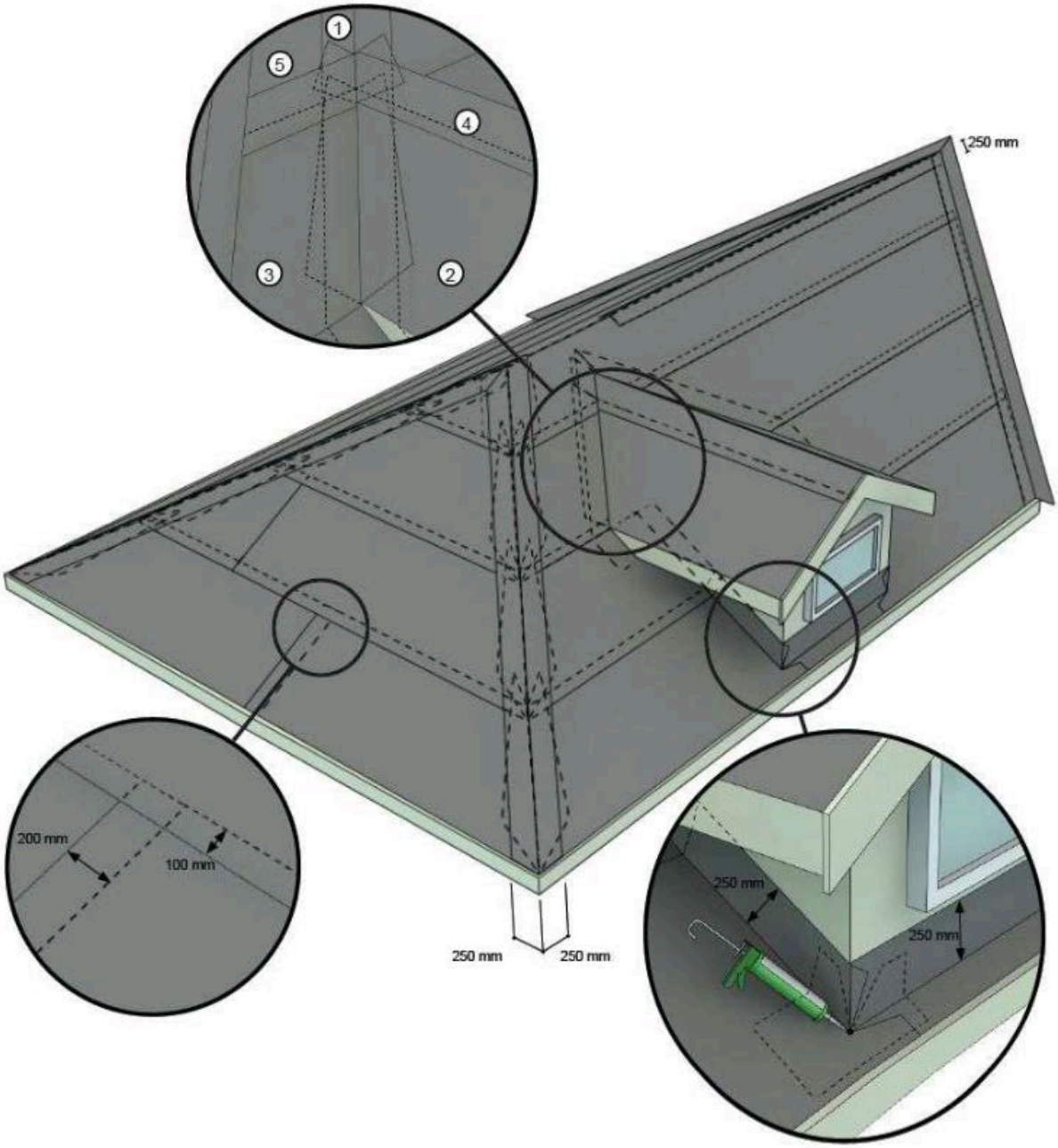
・捨て板の壁側（木下地側）の立ち上がり部分へ、専用ファスナーを打ち込む場合は、出来るだけ高い部分へ打ち込んでください。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

メトロローマン 施工要領

●共通事項：アスファルトルーフィングの貼り付け

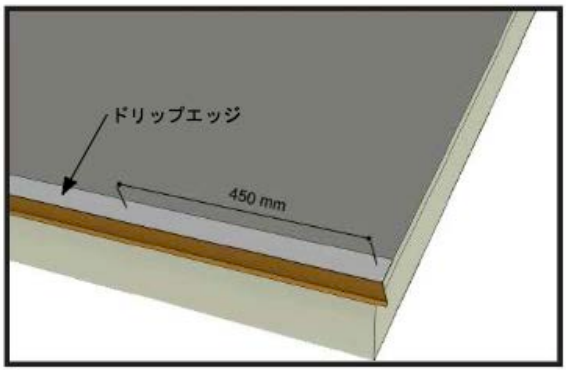


2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

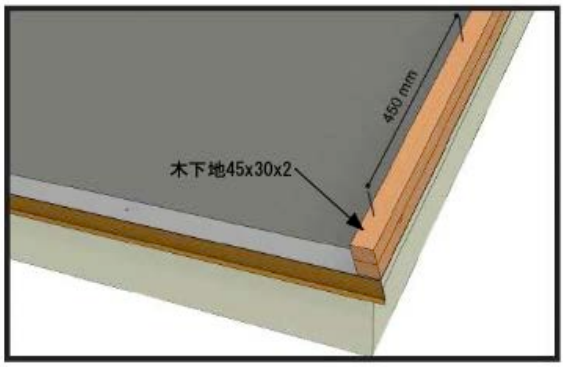
メトロローマン 施工要領

●軒先部：ドリップエッジの取付け



・軒先部にドリップエッジを、４５０ミリピッチのステンレスコーススレッド３８ミリで、野地板に固定します。

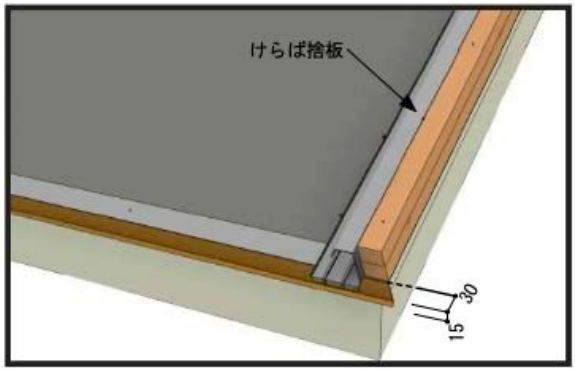
●けらば部：木下地の取付け



・けらば部分に木下地４５×３０×２段を、４５０ミリピッチのステンレスコーススレッドで、野地板に固定します。

・木下地の形状は破風の納まりにより異なります

●けらば部：けらば捨板の取付け



・けらば捨板を野地板と木下地に４５０ミリピッチの専用ファスナー３８ミリで固定します。

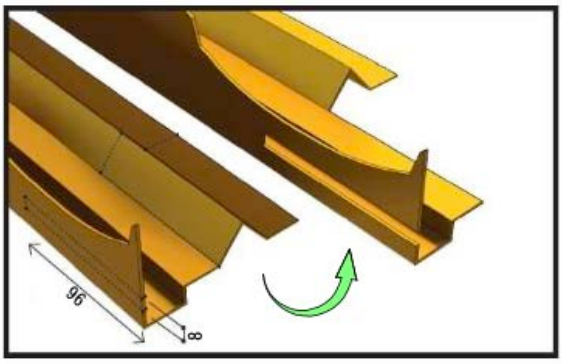
・けらば捨板の下部は１５ミリを垂直に折り下げ、更にドリップエッジから１５ミリ出した位置に納めます。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

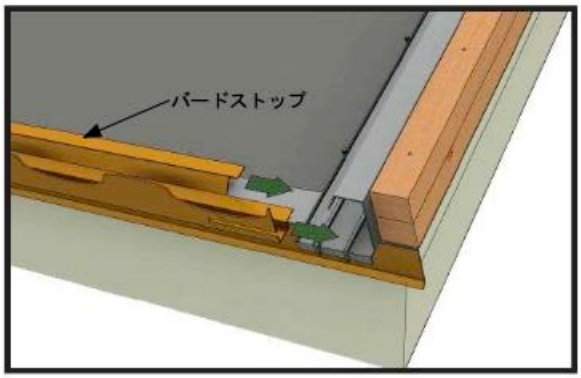
メトロローマン 施工要領

●軒先部：バードストップの加工



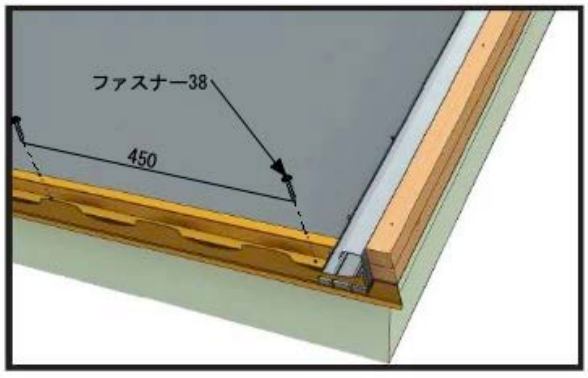
・バードストップの山の部分、及び正面立ち上がり部分を９６ミリ巾で切り取ります。

●軒先部：バードストップのはめ込み



・バードストップの切り取った部分にけらば捨板を差し込むように、横からスライドさせてはめ込みます。

●軒先部：バードストップ取付け



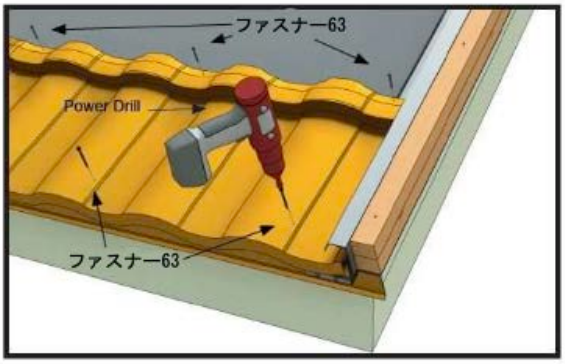
・バードストップを４５０ミリピッチの専用ファスナー３８ミリで固定します。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

メトロローマン 施工要領

●軒先部：ローマンパネル1段目の取付け

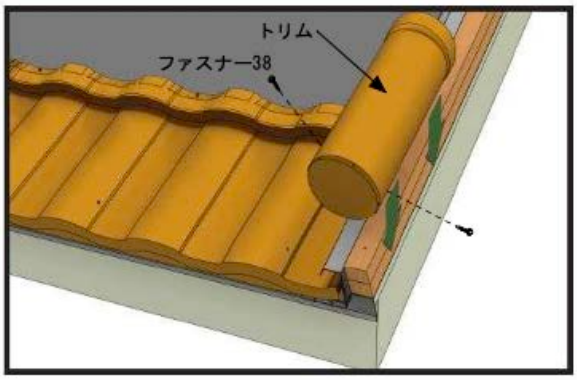


・１列目の取り付けは、パネルをバードストップにしっかりと押さえつけた状態で、バックダウンターンを専用ファスナー６３ミリ４本で野地板に固定します。

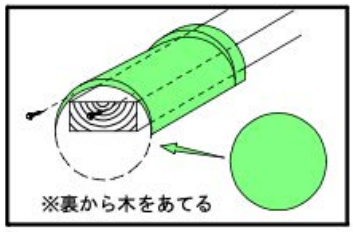
・次にパネルの先端から７５ミリの位置を、専用ファスナー６３ミリ４本で野地板に固定します。

・Ｂ－２０参照

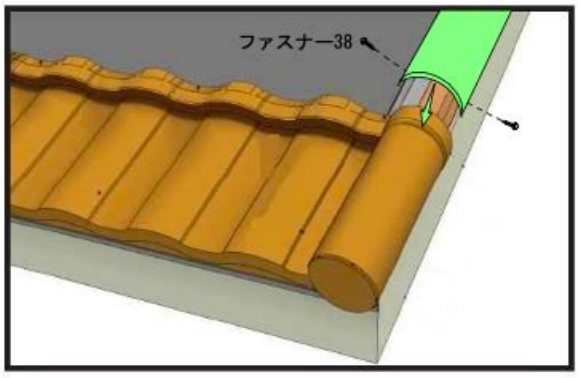
●軒先部：トリムエンドの取付け



・トリムの内側からトリムエンドをはめ込み、専用ファスナー３８ミリ２本で固定します。



●軒先部：バードストップ取付け



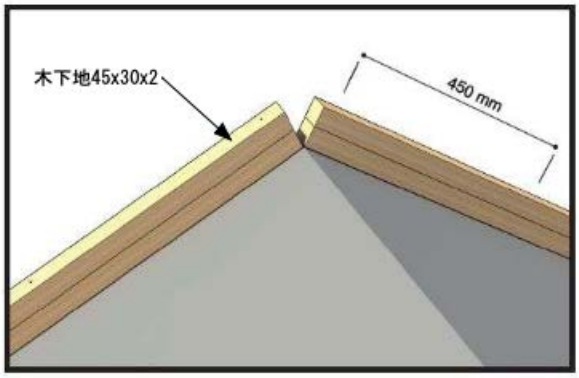
・トリム１本あたり専用ファスナー３８ミリ２本で固定します。

・トリムの位置を正確に決め、外側の専用ファスナーから先に固定します。

・トリムは水下から水上へ順に取付けます。

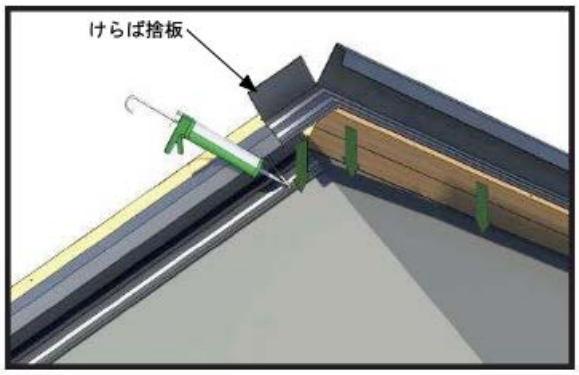
2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

●けらば最上部：木下地の取付け



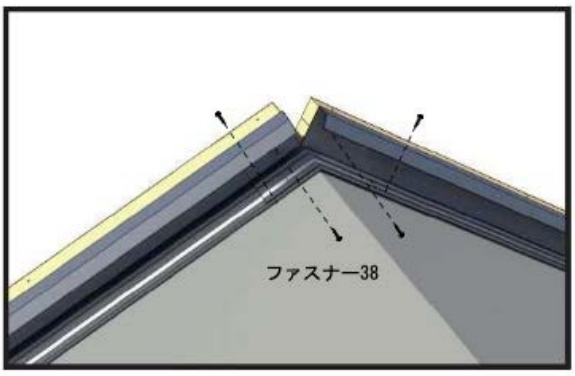
・けらば最上部の木下地は、左図のような納まりとし、４５０ミリピッチのステンレスコーススレッドで固定します。

●けらば最上部：けらば捨板の取付け



・けらば最上部のけらば捨板は、片側の捨板を折り曲げて上部を切り取り１００ミリ重ねます。

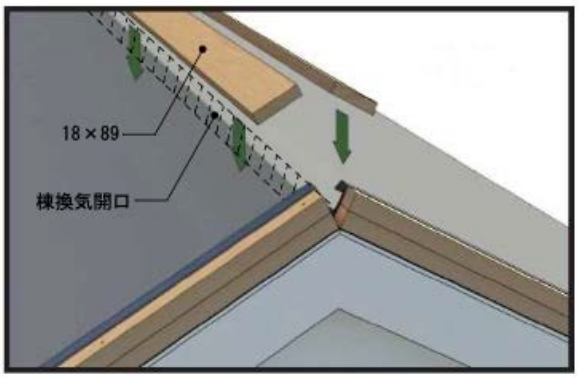
●けらば最上部：けらば捨板の取付け



・けらば捨板の水返し部分と、木下地側の高い部分を４５０ミリピッチの専用ファスナー３８ミリで固定します。

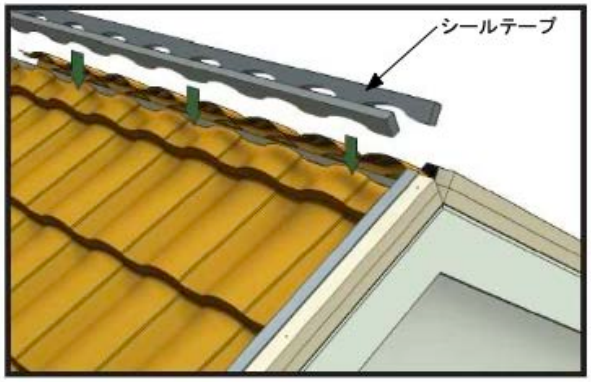
2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

●水平棟部：木下地の取付け



・水平棟の棟換気の開口の両側に、木下地１８×８９を４５０ミリピッチのステンレスコーススレッドで固定します。

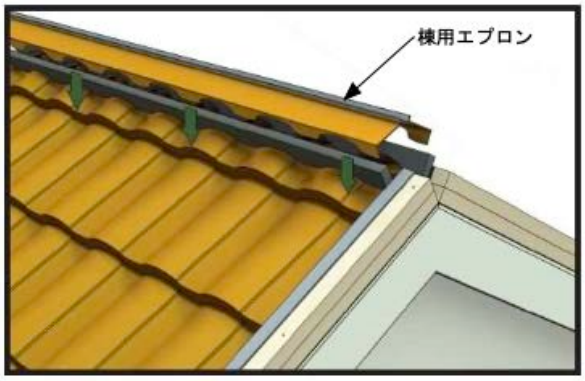
●水平棟部：ローマンシールテープの取付け



・ローマンパネルの最上段を木下地に乗せ、専用ファスナー６３ミリで固定します。

・ローマン棟用エプロンの正面立ち上がりの内側に納まる位置に、ローマンシールテープをすき間無く貼り付けます。

●水平棟部：ローマン棟用エプロンの取付け

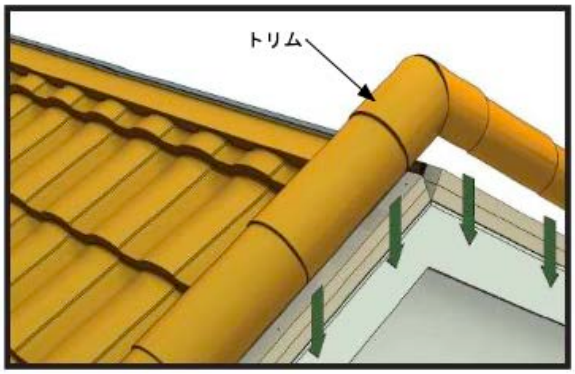


・ローマン棟用エプロンの取り付け位置は、棟換気の有効開口以下にならないように注意します。

・ローマン棟用エプロンはステンレスコーススレッドでシールテープを貫通しないように仮止めします。

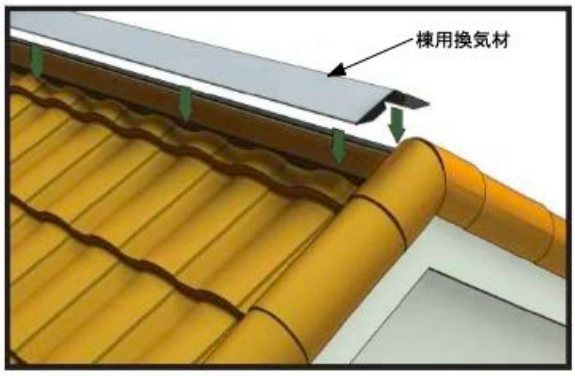
2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

●水平棟部：けらば最上部トリムの取付け



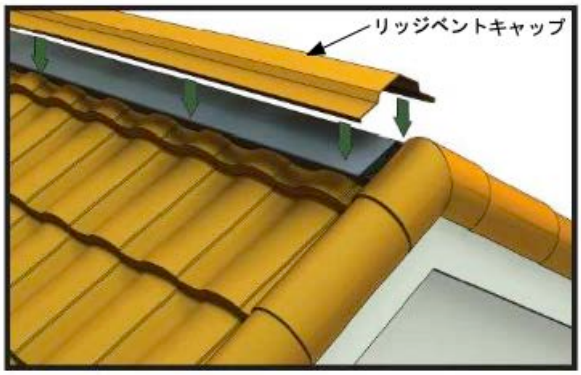
・けらばのトリムを取り付けます。（最上部のトリムの加工方法は次のページを参照してください。）

●水平棟部：棟換気材の取付け



・ローマン棟用エプロンの上に棟換気材を乗せ、換気材の中の構造を壊さないように注意して、ステンレスコーススレッドで仮止めします。

●水平棟部：リッチベンツキャップの取付け



・棟換気材の上にリッジベントキャップを乗せ、４５０ミリピッチのステンレスコーススレッド９０ミリで固定します。

・ステンレスコーススレッドの頭は補修キットでタッチアップして仕上げます。

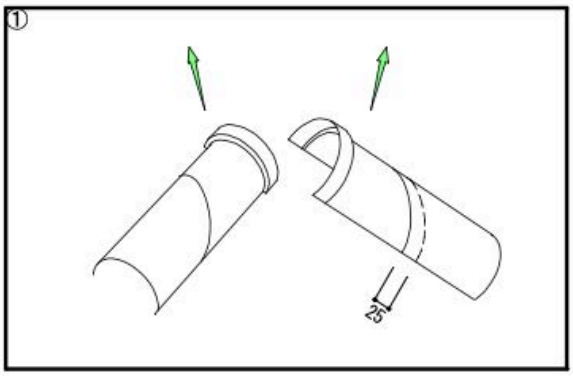
2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

メトロローマン 施工要領

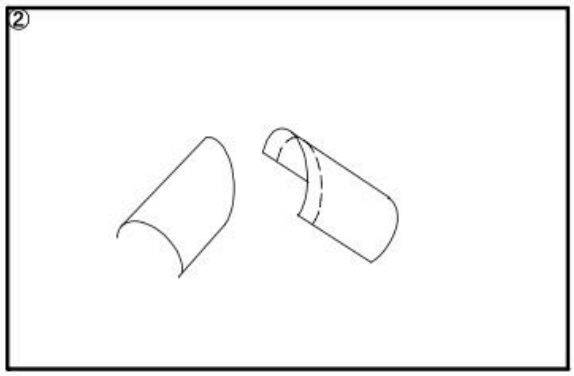
●けらば最上部：トリムの加工

①

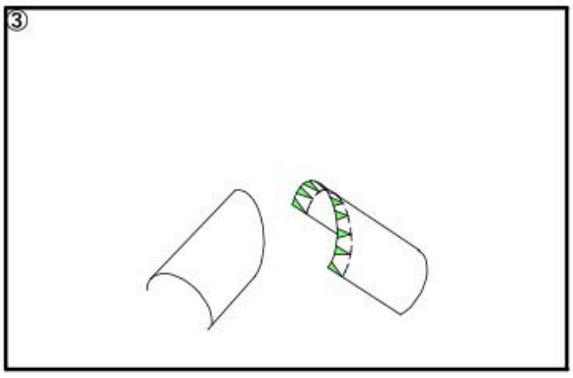


・トリムの両側がトメに納まるように墨を出し、片側を２５ミリ（重ねしろ）長く残しカットします。

②

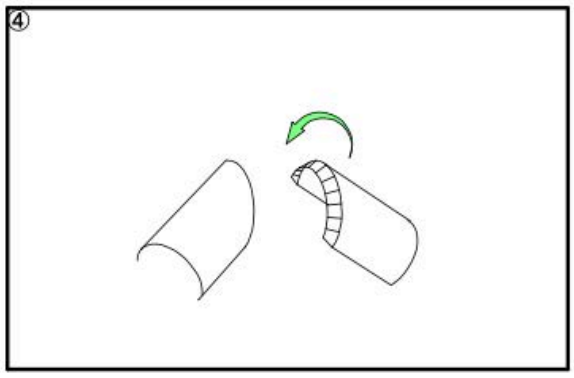


③



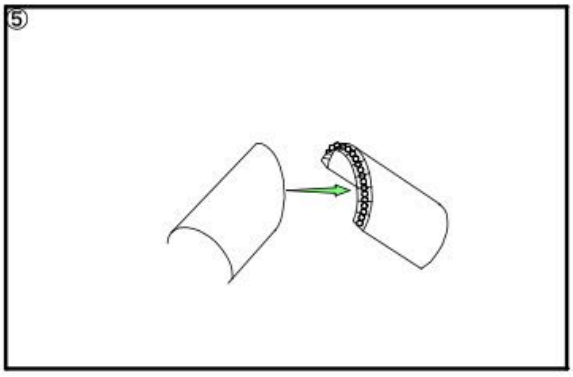
・２５ミリの重ねしろの上図の着色部分を切り取ります。（切り取る角度は屋根勾配により調整します。）

④



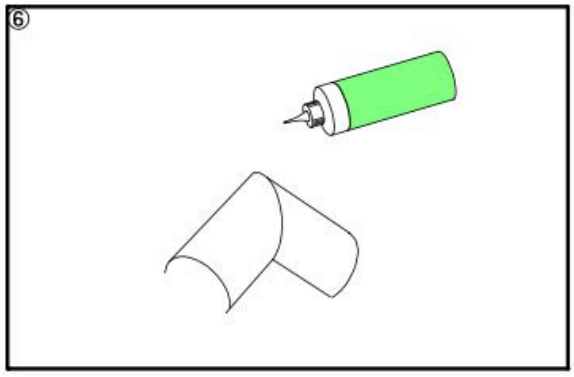
・反対側のトリムと角度が合うように折り曲げます。

⑤



・反対側のトリムとのすき間にシーリングを挟み込んで止水します。

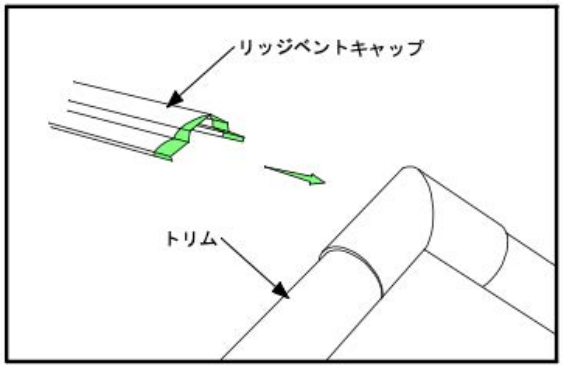
⑥



・両側のトリムを合わせて、接合部を補修キットでタッチアップして仕上げます。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

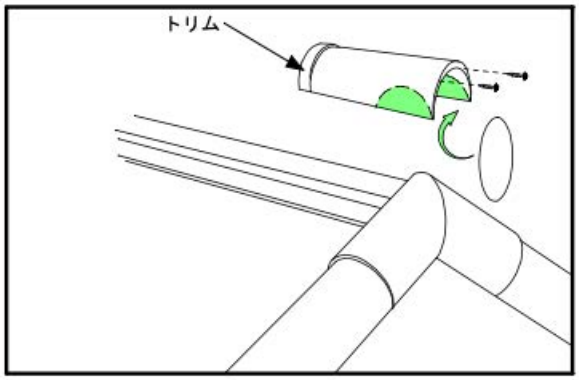
●水平棟部：リッチベンツキャップとトリムの取り合い部の加工



・リッジベントキャップの着色部分を、けらばトリムの形状に合わせて切り取ります。

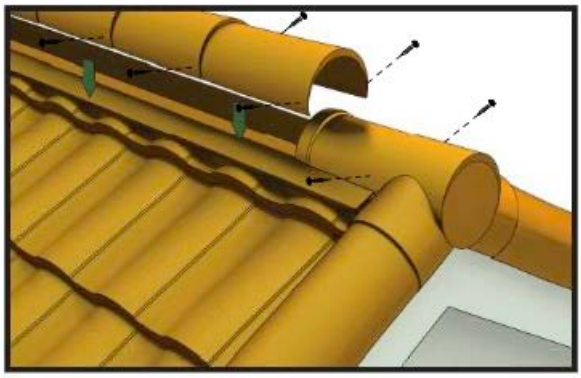
・リッジベントキャップとけらばトリムの接合部を補修キットでタッチアップして仕上げます。

●水平棟部：水平棟トリムとけらばトリムの取り合い部の加工



・水平棟をトリムで仕上げる場合は、けらばのトリムと接する水平棟のトリムを左図のように加工し、接合部を補修キットでタッチアップして仕上げます。

●水平棟部：水平棟トリムの取付け



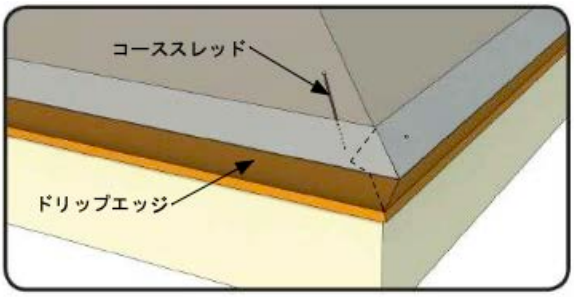
・トリム１本につき専用ファスナー３８ミリ２本を使用して、リッジベントキャップの立ち上がり部に固定します。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

メトロローマン 施工要領

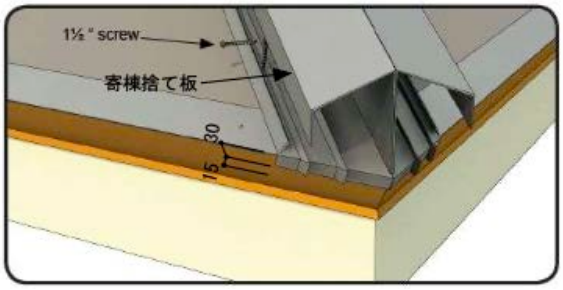
●隅棟部：ドリップエッジの取付け



・軒先部にドリップエッジを、４５０ミリピッチのステンレスコーススレッド３８ミリで、野地板に固定します。

・出隅部の継ぎ部分は左右の材料を重ね合わせます。

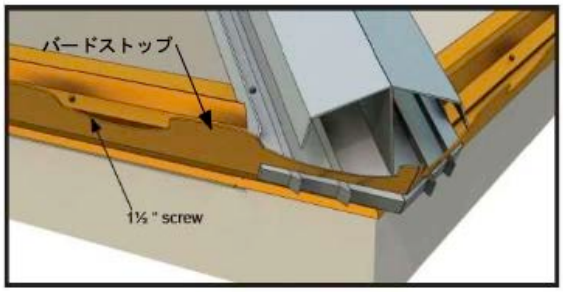
●隅棟部：寄棟捨て板の取付け



・２本の寄棟捨て板を背中合わせに、隅棟のセンターラインに正確に合わせて、４５０ミリピッチの専用ファスナー３８ミリで野地板に定します。

・寄棟捨て板の下部を１５ミリ折り下げ、軒先のラインから３０ミリ出して固定します。

●隅棟部：バードストップの取付け

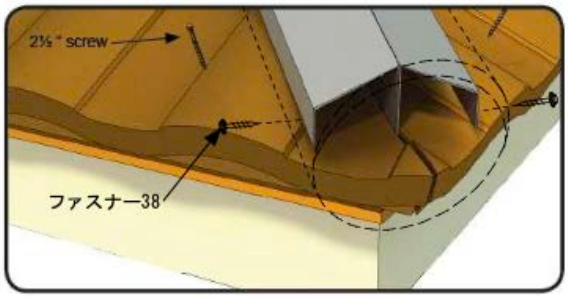


・バードストップの山の部分、及び正面立ち上がり部分を１２０ミリ巾で切り取ります。

・バードストップの切り取った部分に、寄棟捨板を差し込むように、横からスライドさせてはめ込みます。

・バードストップを４５０ミリピッチの専用ファスナー３８ミリで固定します。

●隅棟部：ローマンパネルとトリムの取付け



・１列目のローマンパネルを専用ファスナー６３ミリで野地板に固定します。

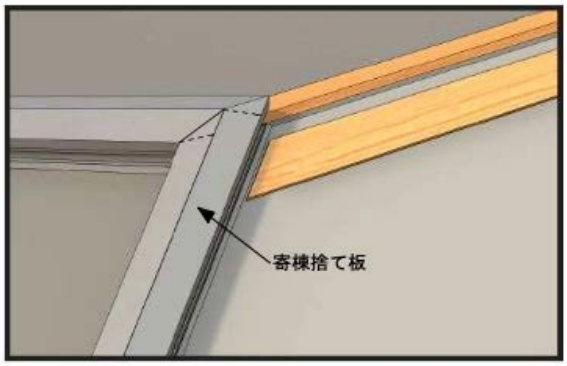
・トリム１本あたり２本の専用ファスナー３８ミリで寄せ棟捨て板に固定します。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

メトロローマン 施工要領

●隅棟部：最上部の下地の取付け



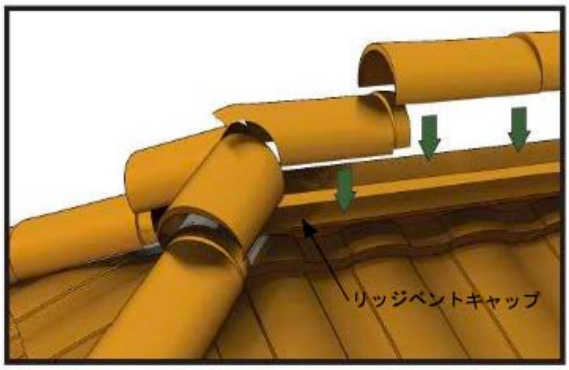
・隅棟部最上部は左右の寄棟捨て板を重ね合わせます。

・水平棟の木下地は寄棟捨て板から１０ミリ程度はなして固定します。

●隅棟部：愛情部の棟用エプロンの取付け

・寄棟捨て板と接する部分の棟用エプロンは、左図のように斜めに加工します。

●隅棟部：トリムの取付け



・隅棟のトリムの最上部の加工は、けらば部と同様の方法で仕上げます。

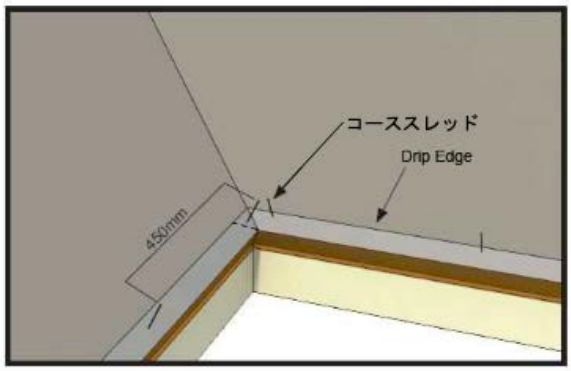
・水平棟をトリムで仕上げる場合は、隅棟のトリムと接する水平棟のトリムを左図のように加工し、接合部を補修キットでタッチアップして仕上げます。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

メトロローマン 施工要領

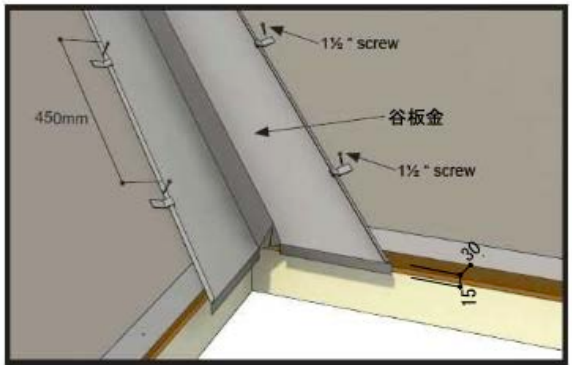
●谷部：ドリップエッジの取付け



・軒先部にドリップエッジを、４５０ミリピッチのステンレスコーススレッド３８ミリで野地板に固定します。

・入隅部の継ぎ部分は左右の材料を重ね合わせます。

●谷部：谷板金の取付け

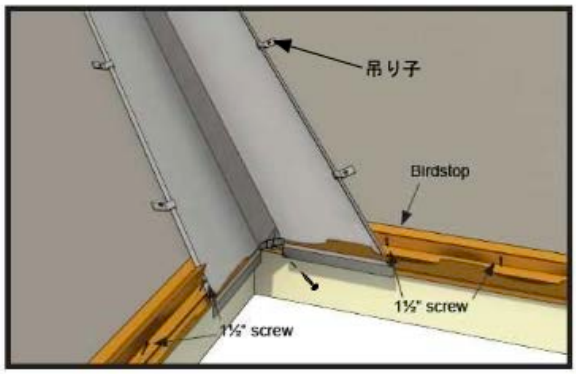


・寄棟捨て板の下部を１５ミリ折り下げ、軒先のラインから３０ミリ出して固定します。

・中心の山の部分は端部を折り曲げてふさぎます。

・谷板金の左右に４５０ミリピッチに吊り子を取り付け谷のセンターラインに正確に合わせて、専用ファスナー３８ミリで野地板に固定します。

●谷部：ローマンバードストップの取付け



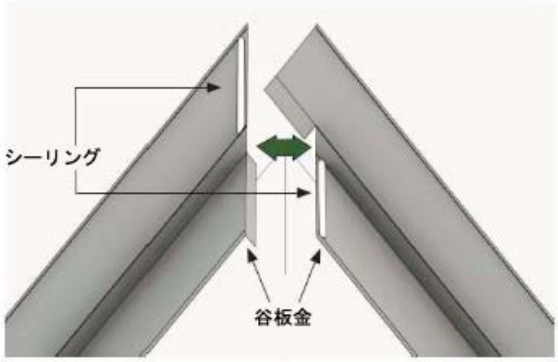
・バードストップの山の部分、及び正面立ち上がり部分を２５０ミリ巾で切り取ります。

・バードストップの切り取った部分に谷板金を差し込むように、横からスライドさせてはめ込み、両側先端を谷板金の山に専用ファスナー３８ミリで固定します。

・バードストップを４５０ミリピッチの専用ファスナー３８ミリで固定します。

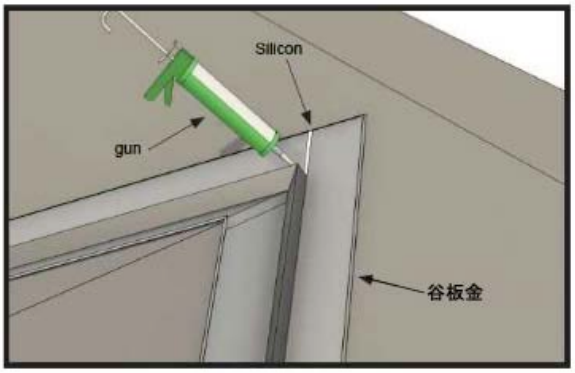
2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

●谷部：最上部の谷板金の加工



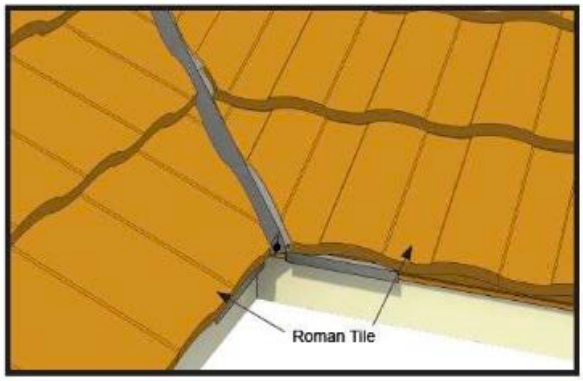
・谷部最上部の左右谷板金の取り合いは、左図のような形状に加工します。

●谷部：最上部の谷板金の取付け



・谷部最上部の左右谷板金の取り合い部はシーリングをはさんで固定します。

●谷部：ローマンパネルの取付け



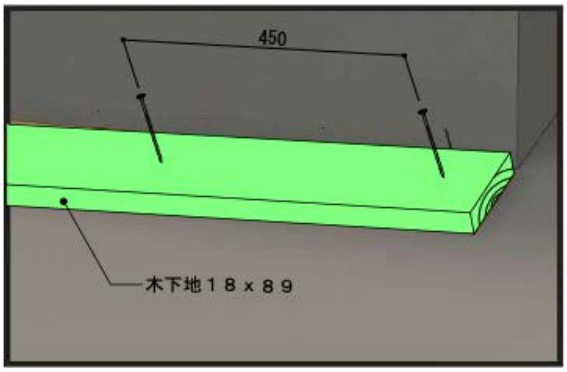
・ローマンパネルの谷部は、谷板金の山に合わせてパネルをカットし、出来るだけすき間を少なく納めます。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

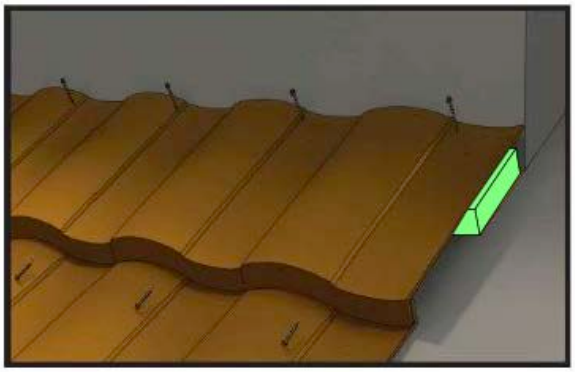
メトロローマン 施工要領

●壁際水上部：木下地の取付け



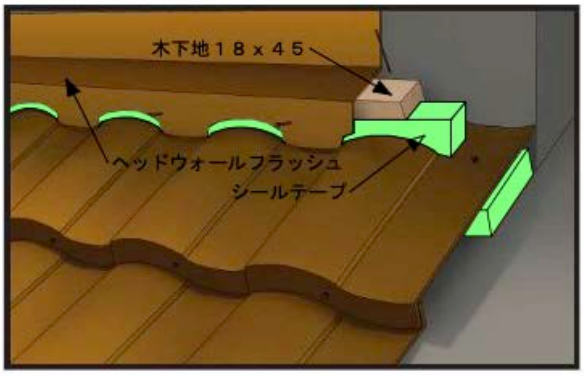
・壁際水上に木下地１８×８９を４５０ミリピッチのステンレスコーススレッドで固定します。

●壁際水上部：ローマンパネルの取付け



・壁際水上の最上段のローマンパネルを木下地に乗せて専用ファスナー６３ミリで固定します。

●壁際水上部：シールテープ・ヘッドウォールフラッシュの取付け



・ローマンパネルの上にローマンシールテープを貼り付けます。（ヘッドウォールフラッシュの立ち上がりに合わせて位置を決めます。）

・ローマンシールテープの上に木下地１８×４５を乗せ４５０ミリピッチのステンレスコーススレッドでシールテープをつぶすように固定します。

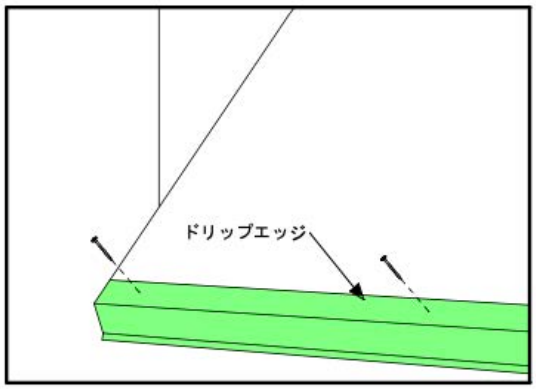
・ヘッドウォールフラッシュをかぶせ、４５０ミリピッチの専用ファスナー３８ミリで固定します。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

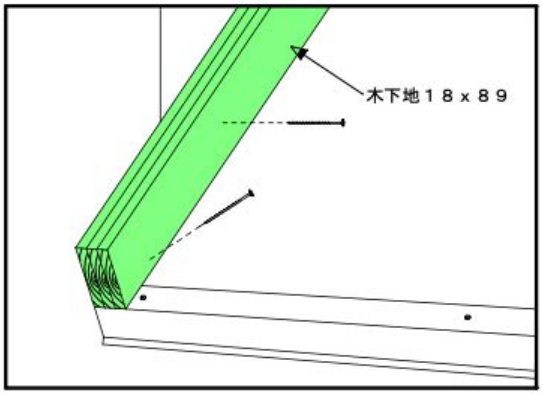
メトロローマン 施工要領

●壁際流れ部：ドリップエッジの取付け



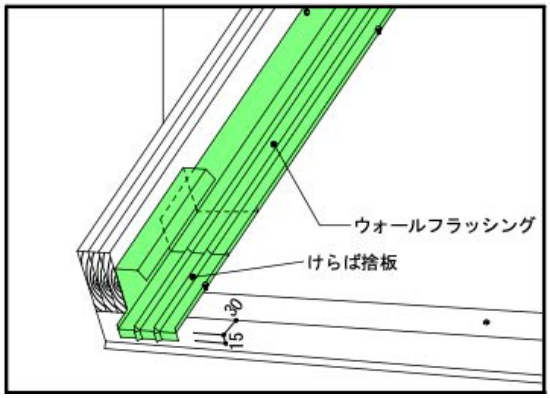
・軒先部にドリップエッジを、４５０ミリピッチのステンレスコーススレッド３８ミリで野地板に固定します。

●壁際流れ部：木下地の取付け



・壁際流れ、けらば部分に木下地１８ｘ８９を、４５０ミリピッチのステンレスコーススレッドで、野地板に固定します。

●壁際流れ部：捨て板の取付け



・壁際流れ部にウォールフラッシング、けらば部にけらば捨板を４５０ミリピッチの専用ファスナー３８ミリで固定します。

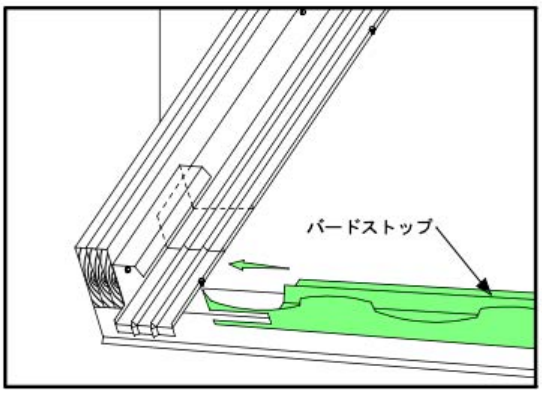
・けらば捨板の下部は１５ミリを垂直に折り下げ、更にドリップエッジから１５ミリ出した位置に納めます。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

MYKE

メトロローマン 施工要領

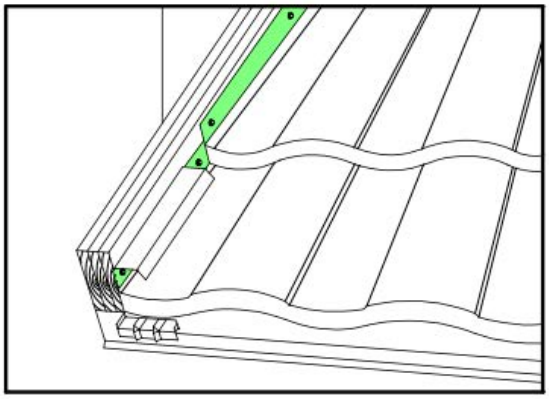
●壁際流れ部：ローマンバードストップの取付け



・バードストップの山の部分、及び正面立ち上がり部分を９６ミリ巾で切り取ります。

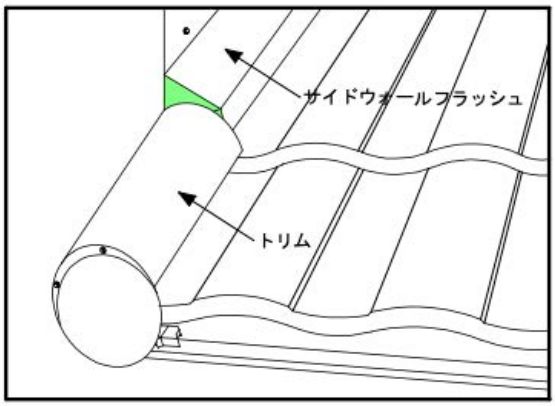
・バードストップの切り取った部分にけらば捨板を差し込むように、横からスライドさせてはめ込み４５０ミリピッチの専用ファスナー３８ミリで固定します。

●壁際流れ部：ローマンパネルの取付け



・ローマンパネルの端部を左図の着色部分のように立ち上げ、専用ファスナー３８ミリで固定します。

●壁際流れ部：サイドウォールフラッシュ・トリムの取付け



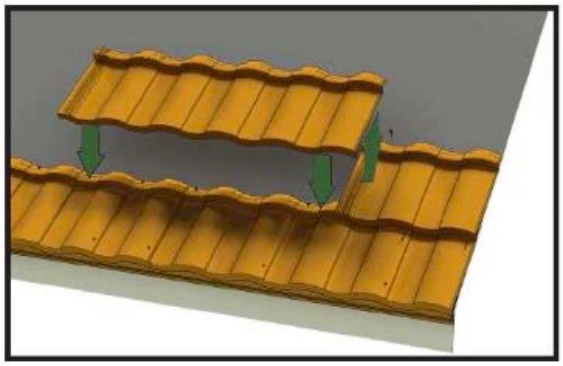
・壁際流れ部にサイドウォールフラッシュ、けらば部にトリムを専用ファスナー３８ミリで取り付けます。

・サイドウォールフラッシュとトリムの接合部分は、左図の着色部分のようにサイドウォールフラッシュを折り曲げてふさぎます。

・サイドウォールフラッシュとトリムの接合部分は、補修キットでタッチアップして仕上げます。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved

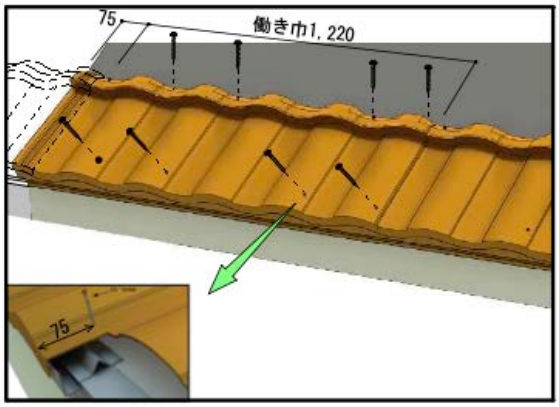
●平部：ローマンパネルの取付



メトロローマンは下から上へ、右から左へ順に取り付けます。

・２列目以降はサイドラップの位置を上下列で一致させないため、貼り始めに短材（５００ミリ以上）を取り付けます。

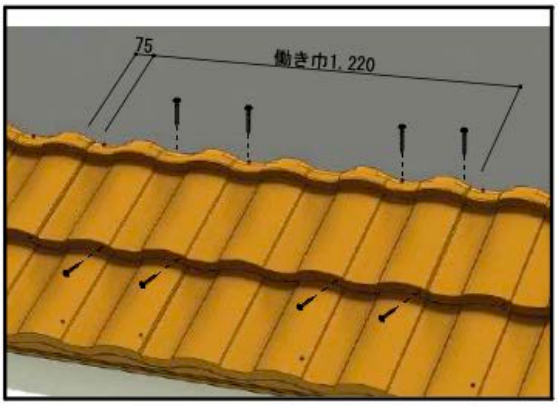
●平部：1列目のローマンパネルの取付け



・１列目の取り付けは、パネルをバードストップにしっかりと押さえつけた状態で、バックダウンターンを専用ファスナー６３ミリ４本で野地板に固定します。

・次にパネルの先端から７５ミリの位置を、専用ファスナー６３ミリ４本で野地板に固定します。

●平部：2列目以降のローマンパネルの取付け



・２列目以降の取り付けは、下列パネルにしっかりと押さえつけた状態で、バックダウンターンを専用ファスナー６３ミリ４本で野地板に固定し、次にノーズダウンターンを専用ファスナー３８ミリで４本で下列パネルのバックフランジに固定します。

2020 Yamachi Corpration. All Right reserved